スケジュールの管理

この章は次のトピックで構成されています。

- スケジュール管理の概要 （1 ページ）
- スケジュールの作成 （1 ページ）

スケジュール管理の概要

スケジュールを定義することで、特定のタスクを異なるタイミングで実行するために保留できます。たとえば、ファームウェアのアップデート、サーバ検出、ポリシーおよびプロファイルの適用などのタスクを、事前定義の時刻または事前定義の頻度で実行するようにスケジュールできます。サーバの作業負荷が低いオフピーク時にタスクをスケジュールできます。

スケジュールの作成

新しいスケジュールを作成するときに、この手順を実行します。

手順

ステップ 1 **[ポリシー（Policies）] > [スケジュールの管理（Manage Schedules）]** を選択します。

ステップ 2 [スケジュールの管理（Manage Schedules）] ページで [追加（Add）] をクリックします。

ステップ 3 [スケジュールの作成（Create Schedule）] ダイアログボックスで、次の情報を入力します。

フィールド	説明
[スケジュール名（Schedule Name）] フィールド	スケジュール タスクの名前を入力します。

フィールド	説明
[スケジュールの有効化（Enable Schedule）] チェック ボックス	スケジュールを有効にするには、このチェック ボックスをオンにします。スケジュールを有効または無効にすることで（[有効（Enable）] または [無効（Disable）] オプションを使用）、スケジュールに関連付けられたタスクの実行を有効または無効にすることができます。
[スケジュール タイプ（Scheduler Type）] ラジオボタン	スケジュールの実行を 1 回限りにするか、繰り返すかを選択します。 [1 回限り（One Time）] のスケジュールを選択する場合は、日付、時刻、午前、午後のオプション ボタンを選択します。 （注） スケジュールの時刻はアプライアンスの時刻に基づいています。ただし、タイム ゾーンはローカル クライアント ブラウザに基づきます。 [繰り返し（Recurring）] のスケジュールを選択した場合は、ドロップダウンリストから、日付（0 ～ 30 日）、時間、分を選択します。

ステップ 4 [送信（Submit）] をクリックします。

次のタスク

- 既存のスケジュールを選択して、変更または削除したり、スケジュール済みのタスクを表示したりできます。[スケジュール済みのタスクの表示（View Scheduled Tasks）] には、ファームウェアのアップグレード、サーバの自動検出、ハードウェア ポリシーの適用またはハードウェア プロファイルの適用を行う場合に、スケジュールに関連付けられたファームウェアのアップグレード、自動検出、ポリシーおよびプロファイルの適用の各タスクのステータスを確認できるレポートが表示されます。
- スケジュールに関連付けられているタスク（複数可）を選択し、[スケジュール済みタスクの削除（Remove Scheduled Tasks）] オプションを使用して、スケジュールとの関連を解除できます。